

支援だより



平成26年度 第7号
平成26年11月26日
神奈川県立中原養護学校
支援連携グループ

寒さも厳しくなってきましたが、皆様、お元気でお過ごしでしょうか。
さて今月の支援だよりの内容は次のとおりです。

1. GLコーナー
2. コラム
進路支援係より～進路支援係 熊谷先生～
～理学療法士・本杉先生～
3. イベント紹介

1. GLコーナー

支援連携グループは、校内外支援係・進路支援係・IT支援係の三つの係でグループ業務に取り組んでいます。…といった話は、今更何を、と思いにられるかもしれませんね。

今回は、業務である「地域におけるセンター的機能」について遅ればせながらご紹介させていただきます。

特別支援学校の地域センター的機能の一つとして、地域の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校からの児童生徒の教育相談があります。

今年度の10月までの相談ケースは、小学校7校(通常級)・6校(特別支援学級)、保育園3園、高等学校1校、特別支援学校1校です。1校から複数の相談ケースがあるのでケース数としては、30ケース程度です。

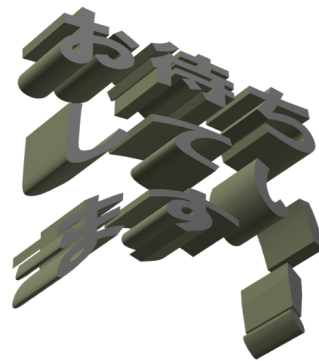
これらのセンター的機能である、他校からの教育相談は、他の養護学校も同様に取り組んでいます。

困り感のある児童生徒に対する支援の手立てを地域の学校の教員と共に考えたり、また、専門職や関係機関との連携につなげることもあります。

地域における特別支援教育のセンターとして支援と連携で、みんなで取り組んで行く。

まさに、支援連携グループに強く求められることであります。

2. コラム



もう、お申込みいただけましたか？

進路支援係～熊谷先生のコラムです～

「横浜の人も申し込めるの？」、

「小学部でもいいの？」、

「本人も連れて行っていいの？」などなど、ご質問をいただきますが、..

「どなたでも、大歓迎です！」

企業と語ろう in かわさき

～障害者雇用企業とのグループディスカッション～

- 日時 平成 27 年 1 月 10 日 (土) 13:15～16:45
- 場所 川崎市立中央支援学校 川崎市高津区久本 3-7-1
- 日程 12:45 受付開始 13:15 開会
16:45 閉会



お申込みください。当日のご参加も可能ですが、できるだけ事前申し込みをお願いいたします。

- 障害者雇用を積極的に行っている企業の見学会などありますが、なかなか、ざくばらんに本音を話せるチャンスはそうありません。
- 「採用の基準はどうか」「働いている方で困ったケースはありますか」などなど、普段の見学会では聞きにくいことも伺えます。

★ 問い合わせ先 進路支援係 熊谷、堀内、岸 電話 044-755-8889

きりとり

「企業と語ろう in かわさき」参加申込書

- 次の必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。

※いずれかに○をしてください

所属..... 県立中原養護学校 知的教育・肢体教育 小・中・高 学部 年

お名前.....

御質問や御要望がありましたら御記入ください

申込締切日 平成 26 年 12 月 3 日 (水)

各校担任→進路担当 迄にご提出下さい

「移動能力」について

理学療法士(PT)
本杉先生のコラムです

今回は「移動能力」についてです。

前回のPT号では「足と靴」についてご説明しました。しかし移動能力は足を使って「歩く」だけでなく、手を伸ばす、寝返り、立ち座りなども含まれるので、今回は身体の様々な部位を利用して動くことについてお話しします。

移動には3つの目的があるといわれています。

①栄養摂取のための目的

②防御のための目的

③社会的な目的

そして、触覚・知覚・認知・感情・運動・社会性・記憶などの側面と対応しながら、ある目的を達成するために移動能力は発達していく特徴があります。

例 知覚：物を注目してみる視覚刺激や食物を感じ取る嗅覚刺激が移動を促す場合

認知：安全なもの、危険なもの、楽しいもの、好きなものを感じて移動する場合。



さらに認知面が発達してくると、目的物が見えなくても見えるところまで行ってみようと先を見据えて移動することができるようになります。



移動のために必要な距離感の発達は自分の体を基準に発達していきます。特に口を中心にして距離感が成長していくといわれています。赤ちゃんは何でも口に運んでしまうことはまさに、口から探索しながら移動を学んでいることの現れです。赤ちゃんは素材を口で学習するだけでなく、手につかんだ物と口までの距離感も無意識の中で学習しているんです。

学校ではお子さんと一緒に歩行練習や寝返り練習をしますが、できる or できないだけでなく、安心して楽しくできる環境、興奮しすぎない環境、音楽を流してリラックスできる場所の提供、関節や筋肉の動かし方などお子さんの特徴に合わせた配慮をしながら行っています。

様々な物や人との触れ合いを通し、お子さんの移動能力の成長につなげていけたらと思います。

次のPT号では、歩行器など、移動を支援する用具をご紹介予定です。

3. イベント紹介

■ あなたらしく生きるために～自閉症スペクトラムガイド～

市民の方への「発達障害」の普及啓発を目的として、平成22年度から開催された市民講座。今年度は、医師として、乳幼児期から学齢期を中心に、幅広い年代の方への相談に携わっている吉田友子先生が講演します。

- 日時 平成26年11月29日（土） 14：00～16：30
- 場所 昭和音楽大学 北校舎5階「ラ・サーラ・スカラ」
(川崎市高津区下作延5-30-1)
JR南部線 津田山駅 徒歩5分
- 対象 川崎市在住、在学、在勤の方
- 定員 180名（定員になり次第締め切り）
- 問い合わせ 川崎市発達障害地域活動支援センターゆりの木
住所 川崎市麻生区上麻生1-7-11クラウンビル301
電話 044-969-7177

■ かわさきボランティアタウンフェスタ2014

川崎市内の福祉に関するボランティア活動を広く市民に紹介し、ボランティア同士の交流、つながりの輪を広げることを目的とするイベント。

- 日時 平成26年11月30日（日） 10：00～16：00
- 場所 川崎市国際交流センター（川崎市中原区木月祈園町2-2）
東急東横線・目黒線「元住吉駅」下車徒歩10分
- 問い合わせ 川崎市社会福祉協議会ボランティア活動振興センター
電話 045-739-8718

支援だよりについてのご意見、ご要望は

e-mail:nakahara01-sh@pen-kanagawa.edp.jp までどうぞ！